

令和7年度 日本ゴマ科学会研究助成募集

日本ゴマ科学会では、令和3年度より研究助成制度を制定し、応募者を募集しております。助成対象者の選考は、日本ゴマ科学会研究助成選考委員会で一括して行い、下記の要領で募集いたします。

日本ゴマ科学会会長
片山 健至

日本ゴマ科学会研究助成応募要項

日本ゴマ科学会研究助成の応募に当たっては、この要項に従って、応募申請書に必要事項を記入し、必要資料を添付して提出すること。

1. 応募内容

令和7年度は「**ゴマの新たな機能性の探索**」で、**1件100万円**の研究助成を行います。

2. 助成期間

1年間とする。

3. 応募資格

国内で研究活動を展開している研究者個人、あるいは研究グループであって、日本ゴマ科学会会員の有無を問わない。ただし、助成対象者が日本ゴマ科学会会員でない場合は、日本ゴマ科学会に入会すること。

4. 応募方法

応募に当たっては、以下の要項に従い応募申請書に記入し、資料を添付して提出すること。なお、応募申請書の様式は、日本ゴマ科学会のホームページ（<http://raicho.sci.u-toyama.ac.jp/~goma/gomaJsite/gomasite/>）からダウンロードすること。

- (1) 「研究計画・方法」欄は、研究計画および方法についての特色・独創的な点等を含めてA4で2枚以内にまとめること。応募研究に関連する国内および国外における研究状況にも言及すること。また、応募研究に係る研究経費の使用内訳（設備備品費、消耗品費、旅費、謝金等）について記載すること。
- (2) 「発表業績リスト」欄は、査読を受けた原著論文を発表の新しい年代順に番号を付けて記入すること。著者名、表題、巻、頁、発行年（西暦）の順に記入すること。著者名は原著どおり全著者を必ず記入し、応募者には下線を付けること。
- (3) 「発表業績リスト」欄に掲げた原著論文のうち、応募内容に関連の深い論文の番号に丸印を付けること。この丸印を付けた論文中、代表論文2編の別刷（コピーでも可）またはPDFファイル（10 MB以下）を資料として添付すること。
- (4) 「今後の研究の展望」は、これまでの研究の発展の方向と、その結果期待されうる成果について述べること。
- (5) 所属学会

5. 応募部数および応募書類送付先

応募申請書は規定の様式により、紙書類または容量 1 MB 以下の PDF ファイルにまとめ、代表論文 2 編の別刷またはその PDF ファイル(10 MB 以下)などの必要な資料を添付して応募すること。

紙書類による応募の場合は、7 部の応募書類（応募申請書、代表論文 2 編の別刷）を下記に郵便または宅配便にて送付すること。なお、提出書類は返却されないので注意すること。

〒510-0059 三重県四日市市尾上町 17-18

九鬼産業株式会社 日本ゴマ科学会事務所 庶務幹事 藤澤英二

電話：059-350-2050（開発部） FAX：059-350-2077

PDF ファイルによる応募の場合は、応募申請書の PDF ファイル（1 MB 以下）と代表論文 2 編の別刷の PDF ファイル（10 MB 以下）を電子メールに添付し、下記の日本ゴマ科学会事務所 藤澤英二の e-mail アドレス宛に送付すること。

kkaihatu@kuki-info.co.jp（九鬼産業お客様相談窓口）

6. 応募期間

令和 7 年 3 月 10 日～7 月 22 日（必着）

7. 採否の通知

令和 7 年 10 月下旬予定

8. 助成金の交付

令和 7 年 11 月中旬予定

9. 研究成果の報告

助成対象者は助成による研究成果を令和 8 年 9 月～11 月開催予定の第 41 回日本ゴマ科学会大会で発表し、併せて助成金の使途報告書を当学会事務所に提出すること。

また、研究成果は当学会誌 **Sesame Newsletter No. 42** [2027（令和 9）年発行] にも掲載すること。助成による研究成果の論文発表の場合には「日本ゴマ科学会の助成」、英文の場合には「**a grant from the Sesame Science Society of Japan**」を受けたことを書き添えること。

10. 個人情報の取扱について

応募書類から得た応募者の個人情報は、助成対象者の選考業務に限定して使用します。

11. これまでの研究助成（年度，研究課題，研究代表者氏名，申請時の所属と職名）

令和 6 年度

熱産生亢進による抗肥満作用におけるゴマの新たな機能性の探索

高橋信之（東京農業大学応用生物科学部教授）

令和 5 年度

食塩過多による高血圧・動脈硬化病変の発症に対するゴマ摂取の有効性に関する検討
後藤孔郎（大分大学医学部講師）

令和 4 年度

アクテオシドが有す肝臓保護機能の分子機序の一端を解明し「ゴマの新たな機能性」
を探索する研究
小松正治（鹿児島大学水産学部教授）

以上